

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

品質の高いコンクリートを提供し、従業員を含めた地域社会全体が満足できる、持続的開発可能な企業を目指す。(令和3年度改正の会社経営方針)
 具体的な姿としては、低燃費車や低燃費蒸気ボイラーへの転換やフライアッシュコンクリート普及によりCO2排出量を低減する取り組みについて、社を挙げて推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	フライアッシュコンクリートの普及を継続すると同時に、2035年の火力発電全廃を見越した新配合の探索	低炭素コンクリート技術の獲得 2023年:0件→2026年:1件
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	事業車(配送用トラック・フォークリフト等)のハイブリッド化および電動化	事業車の電動化 2023年:0台→2026年:1台
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	年齢・国籍を問わない中途採用の実施 氷河期世代(S50-60生)の積極採用	採用人数 2023年:1人→2026年:3人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

建設資材として重要なプレキャストコンクリート製造業者である自社と、建設業者、インフラ利用者(市民)との間に信頼関係を構築し、従業員一人ひとりが仕事に誇りを持つよう職場環境の整備を図る

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	当工場でもっとCO2を排出している蒸気養生工程を改善する。また、フライアッシュコンクリートの普及を加速させ、CO2排出を低減する。	ボイラー効率で1%以上向上 フライアッシュコンクリート配合の見直し実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	ボイラーの断熱効率を向上させ、結果として20%の燃費向上とCO2排出量100t-CO2を達成した。	フライアッシュについては、今後の供給が不安視されるため、配合見直しは未実施
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	営業車・事業用車のエコカー(ハイブリッド, EV, バイオディーゼル)への転換推進	2023年までに、全車両(7台)のうち少なくとも1台をエコカーへ転換する
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	普通車についてはハイブリッド化を進めたが、軽自動車については新型化による低燃費化に努めるにとどまった	1台はエコカー(ハイブリッド)に変更
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない中途採用の実施 氷河期世代(S50-60生)の積極採用	年1人以上
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	氷河期世代を重点的に採用し、合計2名を採用	応募者が少なく年1名には未達(全員採用しても不可能) 期間中2名を採用中1名が氷河期世代

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**